

市内で収穫したエゴマを使ったレシピを普及させるプロジェクト

農高生が考案したレシピをお店で提供

■エゴマ料理を提供する店舗

恵那農業高等学校食品科学科3年生花咲か里山プロジェクト里山班の生徒6人がエゴマを使ったレシピを考案し、6人の料理人と共同して6品の料理が誕生。

これらのエゴマ料理を、プロの料理人の各店舗で提供します。詳細はウェブサイトを確認ください。
問 健幸推進課（内線284）

<p>加藤玲来（農高生） & メゾンドゥジャルダン 佐々木 正巳</p> <p>スペアリーブの えごまオレンジ ソース</p> <p>提供期間 10月16日(水)～ 11月15日(金) ※ランチ限定</p>	<p>田辺彩菜（農高生） & 日本料理おか田 岡田 修</p> <p>エゴマ白玉団子 あんみつ仕立</p> <p>提供期間 10・11月 ※4千円以上の コース料理限定</p>	<p>神原菜伯（農高生） & 花白温泉 高橋 浩一朗</p> <p>エゴマプリン</p> <p>提供期間 10・11月 ※ランチ・コース 料理限定</p>	<p>溝口梨衣奈（農高生） & 割烹 小栗 小栗 一也</p> <p>えごまと豚角煮 のいなり寿司</p> <p>提供期間 10・11月 ※ランチ・懐石 コース限定</p>	<p>西尾礼央（農高生） & 金寿司 林 満</p> <p>えごま入り 天巻き寿司</p> <p>提供期間 10・11月 ※昼・夜限定</p>	<p>松原未紗（農高生） & 季節郷土料理 湖楽園 藤下 光司</p> <p>えごま わらび餅</p> <p>提供期間 10・11月 ※4千円以上の 会席料理限定</p>
---	--	---	--	---	---

補助金上限額の増額と補助対象メニューを追加

空き家改修事業補助金が変わります

市空き家バンクに登録されている物件を賃貸や売買した場合に、改修費用と家財の片付け費用の一部を助成する空き家改修事業補助金。この補助金が10月から名称を変え、内容を拡充します。

■変更内容と新たな補助対象メニュー

- 名称の変更**
- (旧) 空き家改修事業補助金
 - (新) 空き家バンク活用支援補助金 空き家改修に関する費用補助上限額の変更
- (旧) 上限額100万円
(新) 上限額150万円
- ※補助対象経費や補助率は変更無し
- (新) 家財整理に関する費用補助**
- 補助対象経費 補助対象物件の家財道具の搬出処分や清掃、除草、木の伐採などにかかる5万円以上の経費の2分の1（最大10万円）
- その他 補助対象物件の家財など
- の片付けを行う方が申請する。空き家バンク登録前の片付けも対象
- (新) 登記手続きに関する費用補助**
- 補助対象経費 空き家バンクに登録するために必要な、所有権保存登記、表示登記、相続登記など、不動産登記にかかる5万円以上の経費の2分の1（最大10万円）
- その他 空き家バンクに登録する物件に関する登記手続きの費用のみが対象
- 共通**
- 申請方法 移住定住推進室に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて申請してください。事業に着手する前に申請する必要があります。希望する方は早めに相談ください。
 - その他 空き家バンクに登録する前に補助金を申請した場合、補助金の支払いは、空き家バンクへの登録が完了した後にあります。
- 問・問 移住定住推進室（本庁舎3階、内線338）

会場内の電源は水素自動車MIRRAーから供給

第13回 えな環境フェア

■バラエティに富んだ企画が満載

家族で環境について楽しく学ぶことができ、第13回えな環境フェアを開催します。自分でもできるエコ生活のヒントを探しに来ませんか。

□とき 10月26日(出)午前9時半～午後3時半

□ところ 市民会館とその周辺



▲たくさんの企画が勢ぞろい

川でつながる私たち

川でつながる下流のまちの環境を考えよう

ラムサール条約登録湿地の藤前干拓と本市を「川」という共通テーマで結び、それぞれが直面する問題を共有して、「保全・再生」「賢明な利用」「交流・学習」「持続可能な開発目標」を考えるきっかけづくりの場になります。

実行委員会企画コーナー
メビウスの輪(ミニメント)、川でつながる私たち(藤前干拓と中継)体験コーナー
顕微鏡でプランクトン観察、間伐材でマイ箸作り、ペットの名札作り、生き物の触れ合い体験
展示・試乗
電気自動車と水素自動車の展示・試乗会、パッカー車の展示
※その他、多くのイベントを企画しています。詳しくは、市ウェブサイトを確認ください
問 環境課（内線209）

令和につなぐ 至芸が織りなす ぎふの文化

県文楽・能大会えな

■県内の伝承文化が一堂に会す

長い歴史の中で息づいてきた個性あふれる伝統芸能や郷土芸能の素晴らしさを堪能できます。本市からは大井文楽保存会が出演します。

□とき 11月4日(月)正午～午後4時半(午前11時半開場)

□ところ 恵那文化センター

□料金 無料

大井文楽の紹介

大井文楽は、昭和23年、名古屋市の近松座から人形首34個を大井町の有志が譲り受け、同好会を結成。この人形首は、主に阿波の人形細工師初代天狗屋久吉の作品で、21個が県重要有形民俗文化財に、久吉の弟子たちの作品11個が市有形民俗文化財に指定されています。

問 生涯学習課（内線472）



上演外題

- 正午～
オープニングセレモニー
大井小学校ジュニア文楽（恵那市）
「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」
- 午後0時40分～
真桑文楽保存会（本巣市）
「傾城阿波鳴門 巡礼歌の段」
- 午後1時35分～
付知町翁舞保存会（中津川市）
「翁舞 式三番」
- 午後2時10分～
筑前琵琶日本橋会師範 田中旭泉と
大井文楽保存会（恵那市）の共演
「小栗栖」（明智光秀最期の場面）
- 午後3時～
半原操り人形浄瑠璃保存会（瑞浪市）
「御所桜堀川夜討 弁慶上使の段」
- 午後3時55分～
大井文楽保存会（恵那市）
「日高川入相花王 渡し場の段」